



報道関係者各位

令和8年2月26日

世界遺産シンポジウム「まちと共存する王陵群
－私たちの世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」－」を開催

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」は、約1,600年前に築造された49基もの古墳が、都市圏にあっても当時の姿を良くとどめていることが世界的に見ても大変希少なことから評価され、令和元年7月6日に世界文化遺産に登録されました。

羽曳野市では、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」について、その価値や魅力はもちろんのこと、特に市街地の中にある構成資産の今後の保存管理やその活用、継承について考えるシンポジウムを、関連する市民団体と協働で開催します。

福永 伸哉 氏(大阪大学大学院人文学研究科特任教授)が「日本と世界の百舌鳥・古市古墳群」を、また松田 陽 氏(東京大学大学院人文社会系研究科准教授)が「世界遺産の王陵群と共存するまち」の講演を行います。

また、これら専門研究者のほか市民や中学生も加わってパネルディスカッションを行い、マチナカの世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の将来を語ります。



市街地の中の古市古墳群

【日時】 令和8(2026)年3月15日(日曜日)13:00～16:30

【場所】 羽曳野市立生活文化情報センター LIC はびきの サムテックホール M

(〒583-0854 羽曳野市軽里 1-1-1 近鉄南大阪線 古市駅下車 西へ徒歩約15分、または近鉄バス「軽里1丁目」下車すぐ)

【定員】 350名(事前申込要・先着順)

【費用】 500円(資料代)

※手話通訳と要約筆記があります。

※申込方法など、詳細は付属のデータをご覧ください。

■問合せ先

羽曳野市教育委員会事務局 生涯学習部 文化財・世界遺産室

TEL:072-958-1111(内線:4480) メール:bunka-sekai@city.habikino.lg.jp